

2022（令和4）年度放課後等デイサービス自己評価結果

《ココカラー館山教室》

	アンケート項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○			
②	職員の配置数は適切であるか。	○			
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。		○		現在バリアフリー化の配慮が必要な利用児童はいませんが、適切に対処したいです。
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			1日2回のミーティングを行うとともに、定期的に職員会議や個別支援会議を開いています。また、個別支援会議については、ご意向に沿って振り返り、支援内容の検討をしています。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			毎年実施しています。
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			ホームページに公開しています。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		他の事業所の指導や助言を参考に、業務改善につなげています。
⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			外部研修への参加や社内研修を実施しています。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対面での研修参加は難しかったですが、オンライン研修への参加、事業所での伝達研修等を行いました。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			面談や個別支援会議前に保護者の方にご意向等を伺ったうえで、6ヶ月に1回以上モニタリングを行っています。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○		標準化されたアセスメントツールを参考にすることもありますが、全員に対してではないので、必要に応じて検討したいです。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			行事等では職員からアイデアを募り、立案者の原案をもとに、職員で意見を出し合い、詳細を決定しています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			運動等の活動は、前日とかぶりぬよう心掛けながら、体操やダンス、ストレッチや体幹運動、サーキット等組み合わせて行っています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。		○		長期休暇など1日利用のときは、飽きてしまわないように新しいイベントを追加するなど、過ごし方の工夫をしています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			支援開始前にミーティングを行い、活動等の内容や役割を確認しています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○			支援終了後や翌日の朝礼でミーティングを行い、児童の様子や連絡事項等共有しています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			記録はなるべく詳細を心がけ、会議や計画書に活用しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			自由遊び、製作、外出、運動、座学、SST、クッキング等様々な活動を組み合わせ支援しています。（今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、外出は自粛しました。）
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			

21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			情報共有や連絡調整が行えている学校もありますが、保護者⇄事業所でやり取りをして欲しいという学校もあるようです。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。		○		医療的ケアが必要な利用児童はいませんが、今後必要に応じて適切な対応をしていきます。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		児童発達支援事業所等との情報共有は行うことがあります。（保育所や幼稚園、こども園での様子は、ご家族や相談支援専門員の方から聞き取りをしています。）
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		まだそのような例はありませんが、別の事業所をご利用される際は、ご家族に許可を得て引き継ぎをさせていただくことがあります。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			医療機関等から助言を頂き、支援に生かしています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		○		イベント等で外出した際に、地域の児童と触れ合う機会がありますが、今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で外出の自粛をしていたため、そのような機会がありませんでした。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			新型コロナウイルス感染症の影響で、会議が中止になることや、オンライン開催となることもありましたが、会議がある際には積極的に参加をしています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			連絡帳や送迎時等に情報共有を行っています。また、必要に応じて、お電話での情報共有を行うこともあります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。			○	助言等することはありますが、ペアレント・トレーニングの機会はありません。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか。	○			見学や契約時に、パンフレットや書類等を用いて説明する他、質問があれば丁寧な説明をするよう心がけています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。		○		連絡帳や送迎時、面談時等にお聞きし、必要に合わせて支援していますが、今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、面談時間の短縮等をしたこともあり、不十分なこともあったと思います。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		苦情には迅速に対応することを心がけています。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			会報はありませんが、予定表で行事予定を伝えたり、1～2ヶ月ほどのペースでお便りを発行したり、ブログでイベントなどの活動内容を公開したりしています。また、予定変更等の連絡は、マチコミメール等でお伝えしています。
35	個人情報に十分注意しているか。	○			
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			視覚支援や事前説明、個別の声掛け等でサポートしています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか。			○	
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年数回避難訓練を実施しています。（地震・火災・風水害・不審者等）今年度は土曜日開催だけでなく、平日にも開催し、普段とは違う児童も参加できたと思います。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			外部研修や社内研修を行っています。また、外部研修後には、伝達研修を行っています。研修方法に工夫をすることで、より当事者意識を持つことができるようになったように思います。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			必要時は個別支援計画に記載及び説明しています。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			医師からの指示書はいただいていませんが、保護者の方から、医師の指示をお聞きして、対応しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			ヒヤリハットは適時作成し、共有しています。